

ま え が き

この薬価基準は、令和元年8月19日厚生労働省告示第87号に基づき編集したものです。
令和元年10月1日から実施されます。

令和元年9月4日適用薬価追補収載〔令和元年9月3日厚生労働省告示第102号第2条（10月1日以降適用）〕の新薬についても併せて収録しています。

本書の使用にあたっては、つぎの各項にご留意ください。

1. 内用薬、外用薬、歯科用薬剤は一括して品名50音順に配列し、そのあとに注射薬を品名50音順で記載しました。
2. 品名の前に付した略号は以下の通りです。

〔先〕……薬価制度において「先発医薬品」として整理しているもの

①……後発医薬品がない先発医薬品〔後発医薬品の上市前の先発医薬品等（令和元年10月1日現在）〕

②……後発医薬品がある先発医薬品〔先発医薬品と後発医薬品で剤形や規格が同一でない場合等を含む（令和元年10月1日現在）〕

① ②は厚生労働省ホームページ公開の「薬価基準収載品目リスト及び後発医薬品に関する情報について」5. その他（各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報）で更新されるので、最新の区分を確認してください。

☆……後発医薬品と同額又は薬価が低い先発医薬品

〔準〕……準先発品（昭和42年以前に承認・薬価収載された医薬品のうち価格差のある後発医薬品があるもの）

〔後〕……診療報酬において加算等の算定対象となる後発医薬品

★……診療報酬上の加算等の対象から除外する後発医薬品〔先発医薬品と同額又は薬価が高いもの〕

以上は、「薬価基準収載品目リスト及び後発医薬品に関する情報について（令和元年10月1日適用）」（厚生労働省、令和元年8月19日公表）（<http://www.mhlw.go.jp/topics/2019/08/tp20190819-01.html>）に準拠。

〔外〕……外用薬 〔歯〕……歯科用薬剤

〔劇〕……劇薬 〔向〕……向精神薬 〔毒〕……毒薬 〔覚〕……覚醒剤原料

〔麻〕……麻薬 〔生〕……生物由来製品 〔特〕……特定生物由来製品

〔処〕……処方箋医薬品（内用薬・外用薬・歯科用薬剤の該当品目に対して表示）

〔局〕……日本薬局方収載医薬品（統一名収載）

〔局〕……銘柄別収載日本薬局方収載医薬品

〔統〕……統一名で薬価収載された品目（統一名収載品目）

〔経〕……令和2年3月31日までが使用期限の経過措置品目。

※……製造販売承認の品名では、他社の品名と区別できない品目で、官報告示の際、品名の次に括弧書によって医薬品製造販売業者名の略称を加えたことを示す。

麻薬、毒薬、向精神薬、覚醒剤原料は、これらを調剤したとき加算（2種以上重複した場合は1種のみ）があるので、調剤料の算定の際には注意を要します。

また〔劇〕マークが付された品目であっても、散剤、細粒剤、顆粒剤であって、1服用単位ごとに分包化されたものは、劇薬から除外される場合もあります。

メーカー名は、製造販売承認取得会社名（可能な限りにおいて販売会社名）として記しました。薬価基準は、消費税に相当する額を含む価格で告示されています。

3. 内用薬、外用薬には可能な限り一般名（配合剤を除く）、用法・用量等（必要に応じて標榜薬効等）を付しました。

用法・用量は、あくまでも調剤報酬算定の参考のためであり（令和元年8月上旬時点での添付文書に準拠）、詳細等については、当該医薬品の添付文書を参照・確認・準拠してください。

4. 「薬効」と「分類」は原則として、「日本標準商品分類（平成2年6月改訂）」に準拠（一部改変）しております。

2019年8月19日

(株) 薬事日報社

薬価	区分	品名	(規格単位)	メーカー	薬効	用法	用量	分類
28.00	先②	アシノン錠150mg	(150mg1錠)	ゼリア新薬	消化性潰瘍用剤	ニザチジンとして胃・十二指腸潰瘍、逆流性食道炎:1回150mgを1日2回(朝食後、就寝前)経口投与、1回300mgを1日1回(就寝前)経口投与可、適宜増減		2325
307.80	先①外 処	アジマイシン点眼液1%	(1%1mL)	千寿製薬	眼科用剤	アジスロマイシン水和物【結膜炎】成人・7歳以上の小児:1回1滴1日2回2日間、その後1日1回5日間点眼、【眼瞼炎、麦粒腫、涙囊炎】成人1回1滴、1日2回2日間、その後1日1回12日間点眼【15員環マクロライド系抗生物質点眼剤】【9月4日新薬追補収載】		1317
5.90		アジャストAコーワ錠40mg	(40mg1錠)	興和	緩下剤	センナエキスとして1回80mg(2錠(糖衣錠))を就寝前経口投与、高度の便秘:1回160~240mg迄を頓用、連用:1回40~80mgを毎食後経口投与、小児(6~12歳)は1回40mg(1錠)を就寝前経口投与(緩下剤)		2354
793.10	局外劇 処	亜硝酸アミル	(0.25mL1管)	局方品	血管拡張剤	亜硝酸アミル 血管拡張剤・シアン化合物解毒剤		2179
793.10	局外劇 処	亜硝酸アミル「AFP」	(0.25mL1管)	アルフレッサファーマ	血管拡張剤	亜硝酸アミル0.25mL(1管中) 亜硝酸アミル0.25mL(1回1管)を、被覆を除去せずそのまま打ち叩いて破碎し、内容を被覆に吸収させ、鼻孔に当てて吸入させる(血管拡張剤・シアン化合物解毒剤)		2179
793.10	局外劇 処経	亜硝酸アミル「第一三共」	(0.25mL1管)	アルフレッサファーマ	血管拡張剤	亜硝酸アミル0.25mL(1管中) 亜硝酸アミル0.25mL(1回1管)を、被覆を除去せずそのまま打ち叩いて破碎し、内容を被覆に吸収させ、鼻孔に当てて吸入させる(血管拡張剤・シアン化合物解毒剤)		2179
93.80	先①処	アジルバ錠10mg	(10mg1錠)	武田薬品	血圧降下剤	アジルサルタンとして高血圧症:20mgを1日1回経口投与、適宜増減、1日最大投与量40mg(持続性AT1レセプターブロッカー)		2149
140.20	先①処	アジルバ錠20mg	(20mg1錠)	武田薬品	血圧降下剤	アジルサルタンとして高血圧症:20mgを1日1回経口投与、適宜増減、1日最大投与量40mg(持続性AT1レセプターブロッカー)		2149
210.20	先①処	アジルバ錠40mg	(40mg1錠)	武田薬品	血圧降下剤	アジルサルタンとして高血圧症:20mgを1日1回経口投与、適宜増減、1日最大投与量40mg(持続性AT1レセプターブロッカー)		2149
519.70	先①劇 処	アジレクト錠0.5mg	(0.5mg1錠)	武田薬品	抗パーキンソン剤	ラサギリンとして1mgを1日1回経口投与【パーキンソン病治療剤(選択的MAO-B阻害剤)】		1169
963.90	先①劇 処	アジレクト錠1mg	(1mg1錠)	武田薬品	抗パーキンソン剤	ラサギリンとして1mgを1日1回経口投与【パーキンソン病治療剤(選択的MAO-B阻害剤)】		1169
38.60	後外	アズガグルうがい液T4%	(4%1mL)	東亜薬品(ケミファ、沢井製薬)	含嗽剤	アズレンスルホン酸ナトリウム水和物として1回4~6mg(4~5滴)を適量(約100mL)の水又は微温湯に溶解し1日数回含嗽		2260
6.50	後	アズクレニンS配合顆粒	(1g)	長生堂製薬	消化性潰瘍用剤	アズレンスルホン酸ナトリウム水和物3mg、L-グルタミン990mg(1g中) 1日1.5~2gを3~4分服		2329
5.90	後経	アスケート錠300mg	(300mg1錠)	共和薬品	無機質製剤	L-アスパラギン酸カリウムとして1日0.9~2.7gを3回に分けて経口投与、1回3g迄増量可		3229
7.30	局	アスコルビン酸	(1g)	局方品	ビタミンC剤	アスコルビン酸として1日50~2000mgを1~数回に分けて経口投与、適宜増減		3140
8.70	局※	アスコルビン酸(岩城)	(1g)	岩城製薬	ビタミンC剤	アスコルビン酸として1日50~2000mgを1~数回に分けて経口投与、適宜増減		3140
7.50	局	アスコルビン酸「ケンエー」	(1g)	健栄製薬	ビタミンC剤	アスコルビン酸として1日50~2000mgを1~数回に分けて経口投与、適宜増減		3140
7.50	局経	アスコルビン酸原末「タケダ」	(1g)	武田薬品	ビタミンC剤	アスコルビン酸として1日50~2000mgを1~数回に分けて経口投与、適宜増減		3140
7.30	局	アスコルビン酸「ニコー」	(1g)	日興製薬	ビタミンC剤	アスコルビン酸として1日50~2000mgを1~数回に分けて経口投与、適宜増減		3140
7.50	局	アスコルビン酸原末「マルイシ」	(1g)	丸石製薬	ビタミンC剤	アスコルビン酸として1日50~2000mgを1~数回に分けて経口投与、適宜増減		3140
8.70	局※	アスコルビン酸(山善)	(1g)	山善製薬	ビタミンC剤	アスコルビン酸として1日50~2000mgを1~数回に分けて経口投与、適宜増減		3140
8.70	局	アスコルビン酸「ヨシダ」	(1g)	吉田製薬	ビタミンC剤	アスコルビン酸として1日50~2000mgを1~数回に分けて経口投与、適宜増減		3140
7.50	局	アスコルビン酸散	(10%1g)	局方品	ビタミンC剤	アスコルビン酸として1日50~2000mgを1~数回に分けて経口投与、適宜増減		3140
7.60	局	アスコルビン酸散	(20%1g)	局方品	ビタミンC剤	アスコルビン酸として1日50~2000mgを1~数回に分けて経口投与、適宜増減		3140
15.60	後経	アズサレオン錠10	(10mg1錠)	シオノケミカル	アレルギー用剤	エビナスチン塩酸塩としてアレルギー性鼻炎:1回10~20mgを1日1回経口投与、適宜増減(アレルギー性疾患治療剤)		4490
31.10	後	アズサレオン錠20	(20mg1錠)	シオノケミカル	アレルギー用剤	エビナスチン塩酸塩として気管支喘息・湿疹・皮膚炎等:1回20mgを1日1回経口投与、適宜増減		4490

イナ(内・外・菌)

薬価	区分	品名	(規格単位)	メーカー	薬効	用法	用量	分類
4, 241. 50	先①①外 処	イナビル吸入懸濁用160mgセット	(160mg1瓶)	第一三共	抗ウイルス剤	ラニナミビルオクタン酸エステル水和物166. 1mg(ラニナミビルオクタン酸エステルとして160mg)(1バイアル中) 成人・小児:ラニナミビルオクタン酸エステルとして160mgを日本薬局方生理食塩液2mLで懸濁し、ネブライザを用いて単回吸入投与[A型又はB型インフルエンザウイルス感染症の治療](長時間作用型ノイラミニダーゼ阻害剤)【9月4日新薬追補収載】	6250	
2, 179. 50	先①①外 処	イナビル吸入粉末剤20mg	(20mg1キット)	第一三共	抗ウイルス剤	ラニナミビルオクタン酸エステル水和物吸入粉末剤:ラニナミビルオクタン酸エステル水和物20. 76mg(ラニナミビルオクタン酸エステル20mg)(1容器中) ラニナミビルオクタン酸エステルとしてA型又はB型インフルエンザウイルス感染症の治療:成人・小児10歳以上:40mg、小児10歳未満:20mgを単回吸入投与、【予防】:成人・10歳以上の小児:40mgを単回吸入投与、20mgを1日1回2日間吸入投与可、小児10歳未満:20mgを単回吸入投与(長時間作用型ノイラミニダーゼ阻害剤)	6250	
162. 50	先①①劇 処	イニシク配合錠	(1錠)	武田薬品	糖尿病用剤	アログリブチン25mg(アログリブチン安息香酸塩として34mg)・メトホルミン塩酸塩500mg(1錠中) 1日1回1錠を食直前又は食後に経口投与[2型糖尿病(アログリブチン安息香酸塩及びメトホルミン塩酸塩の併用による治療が適切と判断される場合に限り)](選択的DPP-4阻害薬/ビグアナイド系薬配合剤(2型糖尿病治療剤))	3969	
83. 50	先①①処	イノベロン錠100mg	(100mg1錠)	エーザイ	抗てんかん剤	ルフィナミドとして4歳以上の小児 体重15. 0～30. 0kgの場合:最初2日間1日200mgを1日2回に分けて食後経口投与、その後2日ごとに1日用量として200mg以下ずつ漸増、維持用量1日1000mg1日2回に分けて食後に経口投与、1日1000mgを超えない範囲で適宜増減、増量は2日以上の間隔をあけて1日用量として200mg以下ずつ、体重30. 1kg以上の場合:成人の用法・用量に従う	1139	
136. 60	先①①処	イノベロン錠200mg	(200mg1錠)	エーザイ	抗てんかん剤	ルフィナミドとして成人:最初の2日間は1日400mgを1日2回に分けて食後経口投与、その後は2日ごとに1日用量として400mg以下ずつ漸増、維持用量は体重30. 1～50. 0kg:1日1800mg、体重50. 1～70. 0kg:1日2400mg、体重70. 1kg以上:1日3200mg、1日2回に分けて食後経口投与、維持用量を超えない範囲で適宜増減、増量は2日以上の間隔をあけて1日用量として400mg以下ずつ[他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないLennox-Gastaut症候群における強直発作及び脱力発作に対する抗てんかん薬との併用療法]	1139	
15. 70	先①	イノラス配合経腸用液	(10mL)	イーエヌ大塚製薬	たん白アミノ酸製剤	経腸栄養剤 成人標準量として1日562. 5～937. 5mL(900～1500kcal)を経管又は経口投与、経管投与速度は50～400mL/時間、持続的又は1日数回に分割投与、経口投与:1日1回又は数回に分割投与、投与量・速度を適宜増減(たん白アミノ酸製剤)	3259	
29. 00	先①①外 処	イノリン吸入液0. 5%	(0. 5%1mL)	ニプロESファーマ	気管支拡張剤	トリメトキノール塩酸塩水和物5mg(1mL中) 吸入器を用い通常1回0. 25～0. 5mLを深呼吸しながら吸入させる、症状に応じて適宜吸入(気管支拡張剤)	2259	
27. 70	先①	イノリン散1%	(1%1g)	ニプロESファーマ	気管支拡張剤	トリメトキノール塩酸塩水和物として1回2～4mg、1日2～3回経口投与、適宜増減	2259	
12. 80	先①	イノリン錠3mg	(3mg1錠)	ニプロESファーマ	気管支拡張剤	トリメトキノール塩酸塩水和物として1回2～4mg、1日2～3回経口投与、適宜増減	2259	
7. 80	先②	イノリンシロップ0. 1%	(0. 1%1mL)	ニプロESファーマ	気管支拡張剤	トリメトキノール塩酸塩水和物1mg(1mL中) 1日4～3歳4～6mL、2～1歳2～4mL、1歳未満1～2mL、3～4分服[気管支炎、喘息様気管支炎、気管支喘息の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解]	2259	
7. 80	後	EPLカプセル250mg	(250mg1カプセル)	アルフレッサファーマ	高脂血症用剤	ポリエンホスファチジルコリンとして1回500mg、1日3回、適宜増減(肝臓疾患用剤・高脂質血症改善剤)	2189	
142. 90	先①①劇 処	イフェクサーSRカプセル37. 5mg	(37. 5mg1カプセル)	ファイザー	精神神経用剤	ベンラファキシン塩酸塩42. 43mg(ベンラファキシンとして37. 5mg)(1カプセル中) ベンラファキシンとして1日37. 5mgを初期用量とし、1週後より1日75mgを1日1回食後経口投与、年齢、症状に応じて1日225mgを超えない範囲で適宜増減、増量は1週間以上の間隔をあけて1日用量として75mgずつ行う[うつ病・うつ状態](セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤)	1179	

ウア(内・外・菌)

薬価	区分	品名	(規格単位)	メーカー	薬効	用法	用量	分類
20,059.60	先①劇 処	ヴァンフリタ錠17.7mg	(17.7mg1錠)	第一三共	抗悪性腫瘍剤	キザルチニブ塩酸塩20mg(キザルチニブとして17.7mg)(1錠中)キザルチニブとして1日1回26.5mgを2週間経口投与、それ以降は1日1回53mgを経口投与、適宜減量[抗悪性腫瘍剤/FLT3阻害剤]【9月4日新薬追補収載】		4291
27,074.40	先①劇 処	ヴァンフリタ錠26.5mg	(26.5mg1錠)	第一三共	抗悪性腫瘍剤	キザルチニブ塩酸塩30mg(キザルチニブとして26.5mg)(1錠中)キザルチニブとして1日1回26.5mgを2週間経口投与、それ以降は1日1回53mgを経口投与、適宜減量(再発又は難治性のFLT3-ITD変異陽性の急性骨髄性白血病)【9月4日新薬追補収載】		4291
18.30	局	ウイキョウ	(10g)	局方品	生薬	ウイキョウ		5100
18.30	局	ウイキョウダイコーM	(10g)	大児生薬	生薬	ウイキョウ		5100
62.00	局	ウイキョウ油	(1mL)	局方品	矯臭剤	ウイキョウ油		7143
62.00	局	ウイキョウ油「司生堂」	(1mL)	司生堂製薬	矯臭剤	ウイキョウ油		7143
33.30	後外経	ウイルソン軟膏「東豊」	(10g)	東豊薬品(東豊、吉田製薬)	収斂消炎保護剤	酸化亜鉛・豚脂軟膏 酸化亜鉛200mg・豚脂610mg・硬化脂90mg・サラシミツロウ40mg(1g中)症状に応じ1日1～数回、患部に塗擦又は貼布		2649
6.50	劇処	ウインタミン細粒(10%)	(10%1g)	共和薬品	精神神経用剤	クロルプロマジンフェノールフタリン酸塩180mg(クロルプロマジン塩酸塩として100mg相当)[1g中]クロルプロマジン塩酸塩として1日30～450mgを分割経口投与、適宜増減(精神神経用剤)		1171
155.20	先①処	ウェールナラ配合錠	(1錠)	バイエル薬品	混合ホルモン剤	エストラジオール1mg・レボノルゲストレル0.04mg(1錠中)成人に対し1日1錠を経口投与(経口エストラジオール・プロゲステロン配合閉経後骨粗鬆症治療剤)		2482
10.10	後処 局	ウェルビー錠0.625mg	(0.625mg1錠)	サンド	不整脈用剤	ビソプロロールフマル酸塩として虚血性心疾患又は拡張型心筋症に基づく慢性心不全:1日1回0.625mg経口投与から開始で2週間以上投与、忍容性がある場合1日1回1.25mgに増量、その後忍容性がある場合には4週間以上の間隔で忍容性をみながら段階的増量し忍容性がない場合は減量、用量増減は1回投与量を0.625、1.25、2.5、5、3.75又は5mgとして必ず段階的に、いずれも1日1回経口投与、通常維持量として1日1回1.25～5mgを経口投与、維持量適宜増減、最高投与量は1日1回5mgを超えない		2123
10.20	後処 局	ウェルビー錠2.5mg	(2.5mg1錠)	サンド	不整脈用剤	ビソプロロールフマル酸塩として頻脈性心房細動:1日1回2.5mg経口投与から開始、効果不十分時1日1回5mgに増量、最高投与量1日1回5mgを超えない、虚血性心疾患又は拡張型心筋症に基づく慢性心不全:通常維持量として1日1回1.25～5mgを経口投与、開始用量は更に低用量に、増量幅は更に小さくしてもよい、適宜増減(選択的β ₁ アンタゴニスト)		2123
14.90	後処 局	ウェルビー錠5mg	(5mg1錠)	サンド(サンド、日本ジェネリック)	不整脈用剤	ビソプロロールフマル酸塩として5mgを1日1回経口投与、適宜増減[本態性高血圧症(軽症～中等症)・狭心症・心室性期外収縮]		2123
4,219.00	先①劇 処	ヴォトリエント錠200mg	(200mg1錠)	ノバルティス	抗悪性腫瘍剤	パゾパニブ塩酸塩216.7mg(パゾパニブとして200mg)(1錠中)パゾパニブとして悪性軟部腫瘍:1日1回800mgを食事の1時間以上前又は食後2時間以降に経口投与、適宜減量(抗悪性腫瘍剤/キナーゼ阻害剤)[悪性軟部腫瘍、根治切除不能又は転移性の腎細胞癌]		4291
5,143.80	先①処	ヴォリブリス錠2.5mg	(2.5mg1錠)	GSK	循環器官用剤	アンブリセンタンとして肺動脈性肺高血圧症:5mgを1日1回経口投与、症状に応じ1日10mgを超えない範囲で適宜増量(エンドセリン受容体拮抗薬)		2190
9.90	局	ウコン	(10g)	局方品	生薬	ウコン		5100
123.90	劇統	ウス	(10g)	統一名収載品	生薬	ウス		5100
6.60	後外	ウスノン消毒液10%	(10%10mL)	小堺製薬(岩城製薬)	殺菌消毒剤	アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩10%(外用殺菌消毒剤)		2619
7.70	後処	ウタゲン配合散	(1g)	全星薬品(全星、高田)	痛風治療剤	クエン酸カリウム463mg・クエン酸ナトリウム水和物390mg(1g中)痛風等の酸性尿改善:1日1gを1日3回、アシドーシスの改善:1日量6gを3～4分服(アルカリ化療法剤・酸性尿・アシドーシス改善-)		3949
143.60	統	ウチダのアキョウM	(10g)	ウチダ和漢薬	生薬	アキョウ		5100
15.60	局	ウチダのアセンヤク末M	(10g)	ウチダ和漢薬	生薬	アセンヤク末		5100
46.30	局	ウチダのアマチャ末M	(10g)	ウチダ和漢薬	生薬	アマチャ末		5100
46.90	局	ウチダのアマチャM	(10g)	ウチダ和漢薬	生薬	アマチャ		5100

タカ(内・外・菌)

薬価	区分	品名	(規格単位)	メーカー	薬効	用法	用量	分類
14.20	局	高砂モクツウム	(10g)	高砂薬業	生薬	モクツウ		5100
18.30	局	高砂モッコウム	(10g)	高砂薬業	生薬	モッコウ		5100
26.30	局	高砂ヤクチM	(10g)	高砂薬業	生薬	ヤクチ		5100
12.50	局	高砂ヨクイニン末M	(10g)	高砂薬業	生薬	ヨクイニン末		5100
9.00	局	高砂ヨクイニンM	(10g)	高砂薬業	生薬	ヨクイニン		5100
21.10	局	高砂リュウコツM	(10g)	高砂薬業	生薬	リュウコツ		5100
39.50	局	高砂リュウタン末M	(10g)	高砂薬業	生薬	リュウタン末		5100
33.80	局	高砂リュウタンM	(10g)	高砂薬業	生薬	リュウタン		5100
33.80	局	高砂レンギョウム	(10g)	高砂薬業	生薬	レンギョウ		5100
6.30		タカチアスターゼ原末	(1g)	第一三共	消化酵素製剤	タカチアスターゼとして1回0.2～0.3gを1日3回食後に経口投与、適宜増減(消化酵素剤)[アスペルギルス属菌由来消化酵素(末)]		2331
5.70	後	タカベンス錠25mg	(25mg1錠)	高田製薬	軟部腫脹治療剤	メリロートエキスとして1日量75～300mg(3～12錠)を1日3回に分けて経口投与、適宜増減(軟部腫脹治療剤)		2559
15.10	先②	タガメット細粒20%	(20%1g)	大日本住友	消化性潰瘍用剤	シメチジンとして1日400～800mgを1～4分服(H ₂ 受容体拮抗薬)		2325
13.70	先②	タガメット錠200mg	(200mg1錠)	大日本住友	消化性潰瘍用剤	シメチジンとして急性・慢性胃炎の急性増悪期・1日400mgを2回(朝食後・就寝前)に分割経口投与、1日量を1回(就寝前)投与可、適宜増減(H ₂ 受容体拮抗薬)		2325
14.10	先②	タガメット錠400mg	(400mg1錠)	大日本住友	消化性潰瘍用剤	シメチジンとして吻合部潰瘍、逆流性食道炎、上部消化管出血等:1日800mgを2回(朝食後及び就寝前)に分割経口投与、1日量を4回(毎食後及び就寝前)に分割投与可、適宜増減		2325
17.10	局	タクシャ	(10g)	局方品	生薬	タクシャ		5100
17.10	局	タクシャダイコーM	(10g)	大晃生薬	生薬	タクシャ		5100
17.10	局	タクシャM永大	(10g)	永大薬業	生薬	タクシャ		5100
23.10	局	タクシャ末	(10g)	局方品	生薬	タクシャ末		5100
6.20	後劇	ダクチラン錠50mg	(50mg1錠)	杏林製薬	鎮けい剤	ビベリドレート塩酸塩として1日150～200mgを3～4回に分割経口投与、適宜増減(平滑筋収縮緩和剤)		1249
6.70	準劇	ダクチル錠50mg	(50mg1錠)	キッセイ薬品	鎮けい剤	ビベリドレート塩酸塩として1日150～200mgを3～4回に分割経口投与、適宜増減(平滑筋収縮緩和剤)		1249
12,713.70 10,806.60 (令和元年11月1日から)	先①劇 処	タグリッソ錠40mg	(40mg1錠)	アストラゼネカ	抗悪性腫瘍剤	オシメルチニブ40mg(オシメルチニブメシル酸塩として47.7mg)(1錠中) オシメルチニブとして80mgを1日1回経口投与、適宜減量[EGFRチロシンキナーゼ阻害薬に抵抗性のEGFR T790M変異陽性の手術不能又は再発非小細胞肺癌](抗悪性腫瘍剤/チロシンキナーゼ阻害剤)		4291
24,375.80 20,719.40 (令和元年11月1日から)	先①劇 処	タグリッソ錠80mg	(80mg1錠)	アストラゼネカ	抗悪性腫瘍剤	オシメルチニブ80mg(オシメルチニブメシル酸塩として95.4mg)(1錠中) オシメルチニブとして80mgを1日1回経口投与、適宜減量[EGFRチロシンキナーゼ阻害薬に抵抗性のEGFR T790M変異陽性の手術不能又は再発非小細胞肺癌](抗悪性腫瘍剤/チロシンキナーゼ阻害剤)		4291
8,049.30	先①劇 処	ダクルインザ錠60mg	(60mg1錠)	プリストルマイヤーズ	抗ウイルス剤	ダクラタスビル塩酸塩66mg(ダクラタスビルとして60mg)(1錠中) ダクラタスビルとして1回60mgを1日1回経口投与、本剤はアスナプレビルと併用し、投与期間は24週間とする[セログループ1(ジェノタイプ1)のC型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善](抗ウイルス剤/HCV NS5A複製複合体阻害剤)		6250
172.00	後劇 局	タクロリムスカプセル0.5mg「サンド」 (0.5mg1カプセル)		ニプロファーマ (サンド)	免疫抑制剤	タクロリムス水和物 タクロリムスとして潰瘍性大腸炎:初期1回0.025mg/kgを1日2回朝食後・夕食後経口投与、以後2週間、目標血中トラフ濃度10～15ng/mLとし、血中トラフ濃度をモニタリングしながら投与量調節、投与開始後2週以降目標血中トラフ濃度を5～10ng/mLとし投与量調節		3999
172.00	後劇 局	タクロリムスカプセル0.5mg「ニプロ」 (0.5mg1カプセル)		ニプロ	免疫抑制剤	タクロリムス水和物 タクロリムスとして潰瘍性大腸炎:初期1回0.025mg/kgを1日2回朝食後・夕食後経口投与、以後2週間、目標血中トラフ濃度10～15ng/mLとし、血中トラフ濃度をモニタリングしながら投与量調節、投与開始後2週以降目標血中トラフ濃度を5～10ng/mLとし投与量調節		3999

薬価	区分	品名	(規格単位)	メーカー	薬効	用法	用量	分類
22.00	先①処 局	ビブラマイシン錠100mg	(100mg1錠)	ファイザー	抗生物質製剤	ドキシサイクリン塩酸塩水合物として初日1日量200mg(力価)を1～2分服、2日目より1日量100mg(力価)を1回に経口投与、適宜増減(テトラサイクリン系抗生物質)		6152
68.00	先①劇 処	ビブレッソ徐放錠50mg	(50mg1錠)	アステラス製薬 (共和薬品)	精神神経用剤	クエチアピンフマル酸塩57.56mg(クエチアピンとして50mg)(1錠中)クエチアピンとして1回50mgより投与を開始し、2日以上の間隔をあけて1回150mgへ増量、その後、さらに2日以上の間隔をあけて、推奨用量である1回300mgに増量、いずれも1日1回就寝前とし、食後2時間以上あけて経口投与[双極性障害のうつ症状治療薬]		1179
180.00	先①劇 処	ビブレッソ徐放錠150mg	(150mg1錠)	アステラス製薬 (共和薬品)	精神神経用剤	クエチアピンフマル酸塩172.69mg(クエチアピンとして150mg)(1錠中)クエチアピンとして1回50mgより投与を開始し、2日以上の間隔をあけて1回150mgへ増量、その後、さらに2日以上の間隔をあけて、推奨用量である1回300mgに増量、いずれも1日1回就寝前とし、食後2時間以上あけて経口投与[双極性障害のうつ症状治療薬]		1179
5.90		ビフロキシシン配合錠	(1錠)	ゾネボード製薬	混合ビタミン剤	リボフラビン5mg・ピリドキシン塩酸塩10mg(1錠中)1日3～6錠を1～3回に分割経口投与		3179
1,787.00	先①外 処	ビベスピエアロスフィア28吸入 (28吸入1キット)		アストラゼネカ	気管支拡張剤	グリコピロニウム臭化物9.0μg(グリコピロニウム7.2μg)・ホルモテロールフマル酸塩水合物5.0μg(ホルモテロールフマル酸塩4.8μg)(1吸入中)成人:1回2吸入を1日2回吸入投与[慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎、肺気腫)の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解](COPD治療配合剤)【9月4日新薬追補収載】		2259
6.80	後④統	ビベミド酸錠250mg「YD」	(250mg1錠)	陽進堂	合成抗菌剤	ビベミド酸として1日500～2000mgを3～4回に分割経口投与(抗菌性化学療法剤)		6241
6.80	後④統	ビベミド酸250mg錠	(250mg1錠)	統一名収載品	合成抗菌剤	ビベミド酸として1日500～2000mgを3～4回に分割経口投与(抗菌性化学療法剤)		6241
6.30	後	ビベリジオアセチルアミノ安息香酸エチル顆粒20%「日医工」	(20%1g)	日医工ファーマ (日医工)	局所麻酔剤	ビベリジオアセチルアミノ安息香酸エチルとして1日100～800mgを1～4回に分割経口投与、適宜増減(胃粘膜局麻剤)		1219
5.70	後	ビベリジオアセチルアミノ安息香酸エチル錠100mg「日医工」	(100mg1錠)	日医工ファーマ (日医工)	局所麻酔剤	ビベリジオアセチルアミノ安息香酸エチルとして1日100～800mgを1～4回に分割経口投与、適宜増減(胃粘膜局麻剤)		1219
16.10	後④処	ビベリデン塩酸塩細粒1%「アメル」	(1%1g)	共和薬品	抗パーキンソン剤	ビベリデン塩酸塩として1回1mg1日2回より開始、漸増後1日3～6mgを分割経口投与、適宜増減		1162
16.10	後④処	ビベリデン塩酸塩散1%「ヨシトミ」	(1%1g)	田辺三菱製薬	抗パーキンソン剤	ビベリデン塩酸塩として1回1mg1日2回より開始、漸増後1日3～6mgを分割経口投与、適宜増減(抗パーキンソン剤)		1162
5.70	後④処	ビベリデン塩酸塩錠1mg「アメル」	(1mg1錠)	共和薬品	抗パーキンソン剤	ビベリデン塩酸塩として1回1mg1日2回より開始、漸増後1日3～6mgを分割経口投与、適宜増減		1162
5.70	後④処	ビベリデン塩酸塩錠1mg「ヨシトミ」	(1mg1錠)	田辺三菱製薬	抗パーキンソン剤	ビベリデン塩酸塩として1回1mg1日2回より開始、漸増後1日3～6mgを分割経口投与、適宜増減		1162
5.70	後④処	ビベリデン塩酸塩錠2mg「サワイ」	(2mg1錠)	沢井製薬	抗パーキンソン剤	ビベリデン塩酸塩として1回1mg1日2回より開始、漸増後1日3～6mgを分割経口投与、適宜増減		1162
6.30	劇	ヒベルナ散10%	(10%1g)	田辺三菱製薬	抗ヒスタミン剤	プロメタジンヒベンズ酸塩165mg(プロメタジン塩酸塩100mg相当)(1g中)プロメタジン塩酸塩として1回5～25mgを1日1～3回経口投与、振せん麻痺、パーキンソニスム:1日25～200mgを適宜分服、適宜増減(抗ヒスタミン剤)		4413
5.70		ヒベルナ糖衣錠5mg	(5mg1錠)	田辺三菱製薬	抗ヒスタミン剤	プロメタジン塩酸塩として1回5～25mgを1日1～3回経口投与、振せん麻痺、パーキンソニスム:1日25～200mgを適宜分服、適宜増減		4413
5.70		ヒベルナ糖衣錠25mg	(25mg1錠)	田辺三菱製薬	抗ヒスタミン剤	プロメタジン塩酸塩として1回5～25mgを1日1～3回経口投与、振せん麻痺、パーキンソニスム:1日25～200mgを適宜分服、適宜増減		4413
30.80	先①劇 処	ヒボカ5mgカプセル	(5mg1カプセル)	LTLファーマ	血圧降下剤	バルニジピン塩酸塩として10～15mgを1日1回朝食後に経口投与、ただし1日5～10mgより投与を開始、必要に応じ漸次増量(持続性Ca拮抗剤)		2149

薬価	区分	品名	(規格単位)	メーカー	薬効	用法	用量	分類
21.70	準外	ヒルドイドクリーム0.3%	(1g)	マルホ	血行促進・皮膚保湿剤	ヘパリン類似物質3mg(1g中)[白色のクリーム剤(水中油型の乳剤性基剤)]	1日1～数回適量を患部に塗擦又はガーゼ等へのぼして貼付(血行促進・皮膚保湿剤)	3339
12.60	準外	ヒルドイドゲル0.3%	(1g)	マルホ	抗炎症血行促進剤	ヘパリン類似物質3.0mg(1g中)(微黄色澄明のゲル)	適量を、1日1～数回塗擦又はガーゼ等へのぼして貼付(抗炎症血行促進剤)	2649
21.70	準外	ヒルドイドソフト軟膏0.3%	(1g)	マルホ	血行促進・皮膚保湿剤	ヘパリン類似物質3mg(1g中)[白色のクリーム剤(油中水型の乳剤性基剤)]	1日1～数回適量を患部に塗擦又はガーゼ等へのぼして貼付(血行促進・皮膚保湿剤)	3339
22.10	準外	ヒルドイドフォーム0.3%	(1g)	マルホ	血行促進・皮膚保湿剤	ヘパリン類似物質3.0mg(原液1g中)	1日1～数回適量を患部に塗布[血行促進・皮膚保湿剤]	3339
21.70	準外	ヒルドイドローション0.3%	(1g)	マルホ	血行促進・皮膚保湿剤	ヘパリン類似物質3mg(1g中)[白色のローション剤(水中油型の乳剤性基剤)]	1日1～数回適量を患部に塗布(血行促進・皮膚保湿剤)	3339
1,283.50	先処	ビルトリシド錠600mg	(600mg1錠)	バイエル薬品	駆虫剤	ブラジカンテルとして肝吸虫症・肺吸虫症	1回20mg/kgを1日2回2日間、横川吸虫症:1回20mg/kgを1日1～2回1日経口投与(吸虫駆除剤)	6429
12.80	劇処	ヒルナミン細粒10%	(10%1g)	共和薬品	精神神経用剤	レボメプロマジンマレイン酸塩135.4mg(レボメプロマジンとして100mg相当)(1g中)	レボメプロマジンとして1日25～200mgを分割経口投与、適宜増減(統合失調症、躁病、うつ病における不安・緊張)(精神神経用剤)	1172
65.90	劇処	ヒルナミン散50%	(50%1g)	共和薬品	精神神経用剤	レボメプロマジンマレイン酸塩678mg(レボメプロマジンとして500mg相当)(1g中)	レボメプロマジンとして1日25～200mgを分割経口投与、適宜増減(統合失調症、躁病、うつ病における不安・緊張)(精神神経安定剤)	1172
5.70	処	ヒルナミン錠(5mg)	(5mg1錠)	共和薬品	精神神経用剤	レボメプロマジンマレイン酸塩レボメプロマジンとして1日25～200mgを分割経口投与、適宜増減(精神神経用剤)		1172
5.70	処	ヒルナミン錠(25mg)	(25mg1錠)	共和薬品	精神神経用剤	レボメプロマジンマレイン酸塩レボメプロマジンとして1日25～200mgを分割経口投与、適宜増減(精神神経用剤)		1172
6.80	劇処	ヒルナミン錠(50mg)	(50mg1錠)	共和薬品	精神神経用剤	レボメプロマジンマレイン酸塩レボメプロマジンとして1日25～200mgを分割経口投与、適宜増減(精神神経安定剤)		1172
10.10	後外	ビルミチンクリーム1%	(1%1g)	武田テバ薬品((武田テバファーマー)武田)	抗真菌剤	ビホナゾールクリーム	1日1回患部に塗布(抗真菌剤)	2655
390.90	外統	ビルレクス眼軟膏3%	(3%1g)	日本点眼薬	眼科用剤	アシクロビル	単純ヘルペスウイルスに起因する角膜炎:適量を1日5回塗布、適宜回数減じる(ヘルペス性角膜炎化学療法剤)	1319
4,150.30	先①外処	ビレーズトリエアロスフィア56吸入(56吸入1キット)		アストラゼネカ	気管支拡張剤	ブデソニド160μg・グリコピロニウム臭化物9.0μg(グリコピロニウム7.2μg)・ホルモテロール fumarate水和物5.0μg(ホルモテロール fumarate4.8μg)(1吸入中)	成人:1回2吸入を1日2回吸入投与[慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎、肺気腫)の諸症状の緩解](COPD治療配合剤)[9月4日新薬追補収載]	2290
708.60	先①劇処	ピレスパ錠200mg	(200mg1錠)	塩野義製薬	抗線維化剤	ピルフェニドンとして	初期用量1回200mgを1日3回(1日600mg)食後に経口投与、状態を観察しながら1回量を200mgずつ漸増、1回600mg(1日1800mg)迄増量、適宜増減(特発性肺線維症(抗線維化剤))	3999
6.30	劇	ピレチア細粒10%	(10%1g)	高田製薬	抗ヒスタミン剤	プロメタジンメチレンジサリチル酸塩135mg(プロメタジン塩酸塩100mgに相当)(1g中)	プロメタジン塩酸塩として1回5～25mgを1日1～3回経口投与、振せん麻痺、パーキンソニスム:1日25～200mgを適宜分服、適宜増減(抗ヒスタミン剤・抗パーキンソン剤)	4413
5.70		ピレチア錠(5mg)	(5mg1錠)	高田製薬	抗ヒスタミン剤	プロメタジン塩酸塩として	1回5～25mgを1日1～3回経口投与、振せん麻痺、パーキンソニスム:1日25～200mgを適宜分服、適宜増減(抗ヒスタミン剤・抗パーキンソン剤)	4413

薬価	区分	品名	(規格単位)	メーカー	薬効	用法	用量	分類
57.50	先①劇 処	ミニリンメルトOD錠25μg	(25μg1錠)	フェリングファーマ	脳下垂体ホルモン剤	デスモプレシン酢酸塩水和物28μg(デスモプレシンとして25μg)(1錠中)デスモプレシンとして50μgを成人男性には1日1回就寝前に経口投与(男性における夜間多尿による夜間頻尿)【9月4日新薬追補収載】		2419
96.60	先①劇 処	ミニリンメルトOD錠50μg	(50μg1錠)	フェリングファーマ	脳下垂体ホルモン剤	デスモプレシン酢酸塩水和物55μg(デスモプレシンとして50μg)(1錠中)デスモプレシンとして50μgを成人男性には1日1回就寝前に経口投与【脳下垂体ホルモン剤】【9月4日新薬追補収載】		2419
110.30	先①劇 処	ミニリンメルトOD錠60μg	(60μg1錠)	フェリングファーマ(協和キリン)	脳下垂体ホルモン剤	デスモプレシン酢酸塩水和物66μg(デスモプレシンとして60μg)デスモプレシンとして中枢性尿崩症通常:1回60~120μgを1日1~3回経口投与、投与量は患者の飲水量、尿量、尿比重、尿浸透圧により適宜増減、1回投与量は240μg迄、1日投与量は720μgを超えない(ペプチド系抗利尿ホルモン用剤)		2419
186.50	先①劇 処	ミニリンメルトOD錠120μg	(120μg1錠)	フェリングファーマ(協和キリン)	脳下垂体ホルモン剤	デスモプレシン酢酸塩水和物133μg(デスモプレシンとして120μg)デスモプレシンとして尿浸透圧あるいは尿比重の低下に伴う夜尿症:通常1日1回就寝前120μgから経口投与、効果不十分時1日1回就寝前240μgに増量可(ペプチド系抗利尿ホルモン用剤)		2419
312.60	先①劇 処	ミニリンメルトOD錠240μg	(240μg1錠)	フェリングファーマ(協和キリン)	脳下垂体ホルモン剤	デスモプレシン酢酸塩水和物266μg(デスモプレシンとして240μg)デスモプレシンとして尿浸透圧あるいは尿比重の低下に伴う夜尿症通常:1日1回就寝前120μgから経口投与、効果不十分時1日1回就寝前240μgに増量可		2419
47.80	先①処	ミネブロ錠1.25mg	(1.25mg1錠)	第一三共	血圧降下剤	エサキセレンンとして2.5mgを1日1回経口投与、効果不十分な場合:5mg迄増量可(高血圧症)【選択的ミネラルコルチコイド受容体ブロッカー】		2149
91.60	先①処	ミネブロ錠2.5mg	(2.5mg1錠)	第一三共	血圧降下剤	エサキセレンンとして2.5mgを1日1回経口投与、効果不十分な場合:5mg迄増量可(高血圧症)【選択的ミネラルコルチコイド受容体ブロッカー】		2149
137.40	先①処	ミネブロ錠5mg	(5mg1錠)	第一三共	血圧降下剤	エサキセレンンとして2.5mgを1日1回経口投与、効果不十分な場合:5mg迄増量可(高血圧症)		2149
17.90	処	ミノアレ散66.7%	(66.7%1g)	日医工	抗てんかん剤	トリメタジオン667mg(1g中)トリメタジオンとして1日1g(散として1.5g)を毎食後3回に分け経口投与、適宜漸増、最高1日2g(散として3g)を限度、小児は成人量を基準に体重により決定(抗てんかん剤)		1133
24.10	後処	ミノサイクリン塩酸塩カプセル100mg「日医工」	(100mg1カプセル)	日医工ファーマ(日医工)	抗生物質製剤	ミノサイクリン塩酸塩 ミノサイクリンとして初回100~200mg(力価)、以後12時間又は24時間ごとに100mg(力価)を経口投与		6152
20.00	処	ミノサイクリン塩酸塩顆粒2%「サワイ」	(20mg1g)	沢井製薬	抗生物質製剤	ミノサイクリン塩酸塩 小児:体重1kgあたり本剤0.1~0.2g(ミノサイクリン塩酸塩として2~4mg(力価))を1日量として、12あるいは24時間ごとに粉末のまま経口投与、用時水を加えてシロップ状可		6152
13.00	後局	ミノサイクリン塩酸塩錠50mg「サワイ」	(50mg1錠)	沢井製薬	抗生物質製剤	ミノサイクリン塩酸塩 ミノサイクリンとして初回100~200mg(力価)、以後12時間又は24時間ごとに100mg(力価)を経口投与(テトラサイクリン系抗生物質製剤)		6152
13.00	後局	ミノサイクリン塩酸塩錠50mg「トーフ」	(50mg1錠)	東和薬品	抗生物質製剤	ミノサイクリン塩酸塩 ミノサイクリンとして初回100~200mg(力価)、以後12時間又は24時間ごとに100mg(力価)を経口投与(テトラサイクリン系抗生物質製剤)		6152
13.00	後局	ミノサイクリン塩酸塩錠50mg「日医工」	(50mg1錠)	日医工ファーマ(日医工)	抗生物質製剤	ミノサイクリン塩酸塩 ミノサイクリンとして初回100~200mg(力価)、以後12時間又は24時間ごとに100mg(力価)を経口投与(テトラサイクリン系抗生物質製剤)		6152
24.10	後局	ミノサイクリン塩酸塩錠100mg「サワイ」	(100mg1錠)	沢井製薬	抗生物質製剤	ミノサイクリン塩酸塩 ミノサイクリンとして初回100~200mg(力価)、以後12時間又は24時間ごとに100mg(力価)を経口投与		6152
24.10	後局	ミノサイクリン塩酸塩錠100mg「トーフ」	(100mg1錠)	東和薬品	抗生物質製剤	ミノサイクリン塩酸塩 ミノサイクリンとして初回100~200mg(力価)、以後12時間又は24時間ごとに100mg(力価)を経口投与		6152
40.70	後劇処	ミノドロン酸錠1mg「あゆみ」	(1mg1錠)	あゆみ製薬	骨粗鬆症治療剤	ミノドロン酸水和物として1mgを1日1回起床時に十分量(約180mL)の水(又はぬるま湯)とともに経口投与、服用後少なくとも30分は横にならず、飲食(水を除く)・他の薬剤の経口摂取も避ける(骨粗鬆症治療剤)		3999

ロス(内・外・菌)

薬価	区分	品 名	(規格単位)	メーカー	薬 効	用 法	用 量	分類
36.60	後②	ロスバスタチンOD錠5mg「YD」	(5mg1錠)	陽進堂	高脂血症用剤	ロスバスタチンカルシウム口腔内崩壊錠	1日1回、早期にLDL-コレステロール値を低下させる必要:5mgより投与開始可、LDL-コレステロール値低下不十分:漸次10mg迄増量可、1日最大20mg迄	2189
38.50	後②	ロスバスタチンOD錠10mg「トローワ」	(10mg1錠)	東和薬品	高脂血症用剤	ロスバスタチンカルシウム10.40mg(ロスバスタチン10mg)(1錠中)	1日1回、LDL-コレステロール値低下不十分:漸次10mg迄増量可、1日最大20mg迄	2189
42.10	★	ロスボリア錠1mg	(1mg1錠)	日医工(あすか製薬、武田薬品)	止瀉剤	ロペラミド塩酸塩として	1日1～2mgを1～2回に分割経口投与(止瀉剤)	2319
54.00	外統	ローズ油	(1mL)	統一名収載品	矯臭剤	ローズ油		7149
54.00	外統	ローズ油	(1mL)	司生堂製薬	矯臭剤	ローズ油		7149
5,310.80	先①劇	ロズリートレカプセル100mg	(100mg1カプセル)	中外製薬	抗悪性腫瘍剤	エストレクチニブとして	成人:1日1回600mgを経口投与、適宜減量、小児:1日1回300mg/m ² (体表面積)を経口投与、600mgを超えないこと、適宜減量[NTRK融合遺伝子陽性の進行・再発の固形癌]【9月4日新薬追捕収載】	4291
10,073.00	先①劇	ロズリートレカプセル200mg	(200mg1カプセル)	中外製薬	抗悪性腫瘍剤	エストレクチニブとして	成人:1日1回600mgを経口投与、適宜減量、小児:1日1回300mg/m ² (体表面積)を経口投与、600mgを超えないこと、適宜減量(抗悪性腫瘍剤・チロシンキナーゼ阻害剤)【9月4日新薬追捕収載】	4291
102.70	先①外	ロゼックスゲル0.75%	(0.75%1g)	マルホ	がん性皮膚潰瘍臭改善薬	メトロナゾール	7.5mg(0.75%)(1g中) がん性皮膚潰瘍部位の殺菌・臭気の軽減:症状及び病巣の広さに応じて適量を使用、潰瘍面を清拭後、1日1～2回ガーゼ等のにぼして貼付するか、患部に直接塗布しその上をガーゼ等で保護(無色～微黄色で異物を含まない単一相、粘稠で均一なゲル剤)[がん性皮膚潰瘍臭改善薬]	2699
86.20	先①処	ロゼレム錠8mg	(8mg1錠)	武田薬品	中枢神経系用剤	ラメルテオンとして	1回8mgを就寝前に経口投与[不眠症における入眠困難の改善](メラトニン受容体アゴニスト)	1190
7.00	局劇	ロートエクス散	(1g)	局方品	鎮けい剤	ロートエクス(総アルカロイドとして	0.90～1.09%を含有する)として1日20～90mgを2～3回に分割経口投与、適宜増減、肛門疾患における鎮痛・鎮けい:ロートエクスを10%含有する軟膏又は坐剤として適宜使用(鎮けい剤)	1249
7.30	局劇	ロートエクス散「ケンエー」	(1g)	健栄製薬	鎮けい剤	ロートエクス(総アルカロイドとして	0.90～1.09%を含有する)として1日20～90mgを2～3回に分割経口投与、適宜増減	1249
7.00	局劇	ロートエクス散「司生堂」	(1g)	司生堂製薬	鎮けい剤	ロートエクス(総アルカロイドとして	0.90～1.09%を含有する)として1日20～90mgを2～3回に分割経口投与、適宜増減	1249
7.30	局劇	ロートエクス散「ニコー」	(1g)	日興製薬(日興、丸石、中北)	鎮けい剤	ロートエクス(総アルカロイドとして	0.085～0.110%を含有)として1日20～90mgを2～3回に分割経口投与、適宜増減(鎮痙・鎮痛剤)	1249
9.70	局劇	ロートエクス散「ハチ」	(1g)	東洋製化(小野、吉田)	鎮けい剤	ロートエクス(総アルカロイドとして	0.90～1.09%を含有する)として1日20～90mgを2～3回に分割経口投与、適宜増減	1249
7.30	局劇	ロートエクス散「ホエイ」	(1g)	マイラン製薬(ファイザー)	鎮けい剤	ロートエクス(総アルカロイドとして	0.90～1.09%を含有する)として1日20～90mgを2～3回に分割経口投与、適宜増減	1249
7.00	局劇	ロートエクス散	(1g)	山善製薬	鎮けい剤	ロートエクス(総アルカロイドとして	0.90～1.09%を含有する)として1日20～90mgを2～3回に分割経口投与、適宜増減	1249
7.60	局劇	ロートエクス散「JG」	(1g)	日本ジェネリック	鎮けい剤	ロートエクス(総アルカロイドとして	0.90～1.09%を含有する)として1日20～90mgを2～3回に分割経口投与、適宜増減	1249
7.00	局劇	ロートエクス散「NikP」	(1g)	日医工	鎮けい剤	ロートエクス(総アルカロイドとして	0.90～1.09%を含有する)として1日20～90mgを2～3回に分割経口投与、適宜増減、肛門疾患における鎮痛・鎮けい:ロートエクスを10%含有する軟膏又は坐剤として適宜使用(鎮けい剤)	1249
25.90	局外	ロートエクス・タンニン坐剤	(1個)	局方品	痔疾用剤	ロートエクス・タンニン坐剤		2559
17.70	局劇	ロートコン	(10g)	局方品	生薬	ロートコン		5100
59.80	先②劇	ロドピン細粒10%	(10%1g)	LTLファーマ	精神神経用剤	ゾピテンとして	1日75～150mgを分割経口投与、適宜増減、1日450mg迄増量可(統合失調症治療剤)	1179
246.40	先②劇	ロドピン細粒50%	(50%1g)	LTLファーマ	精神神経用剤	ゾピテンとして	1日75～150mgを分割経口投与、適宜増減、1日450mg迄増量可(統合失調症治療剤)	1179

薬価	区分	品名	(規格単位)	メーカー	薬効	用法	用量	分類
16.40	先②劇 処	ロドピン錠25mg	(25mg1錠)	LTLファーマ	精神神経用剤	ゾテピンとして1日75～150mgを分割経口投与、適宜増減、1日450mg迄増量可(統合失調症治療剤)		1179
28.20	先②劇 処	ロドピン錠50mg	(50mg1錠)	LTLファーマ	精神神経用剤	ゾテピンとして1日75～150mgを分割経口投与、適宜増減、1日450mg迄増量可(統合失調症治療剤)		1179
52.70	先②劇 処	ロドピン錠100mg	(100mg1錠)	LTLファーマ	精神神経用剤	ゾテピンとして1日75～150mgを分割経口投与、適宜増減、1日450mg迄増量可(統合失調症治療剤)		1179
238.90	先①	ロトリガ粒状カプセル2g	(2g1包)	武田薬品	高脂血症用剤	オメガ-3脂肪酸エチル2g(1包中)オメガ-3脂肪酸エチルとして1回2gを1日1回、食直後に経口投与、トリグリセライド高値の程度により1回2g1日2回迄増量可(EPA・DHA製剤)		2189
669.20	先②劇 処	ロナセン散2%	(2%1g)	大日本住友	精神神経用剤	ブロナンセリンとして1回4mg1日2回食後経口投与より開始、徐々に増量、維持量1日8～16mgを2回に分け食後経口投与、適宜増減、1日量24mgを超えない(統合失調症)(抗精神病剤)		1179
73.70	先②劇 処	ロナセン錠2mg	(2mg1錠)	大日本住友	精神神経用剤	ブロナンセリンとして1回4mg1日2回食後経口投与より開始、徐々に増量、維持量として1日8～16mgを2回に分け食後経口投与、適宜増減、1日量24mgを超えない(抗精神病剤)		1179
138.30	先②劇 処	ロナセン錠4mg	(4mg1錠)	大日本住友	精神神経用剤	ブロナンセリンとして1回4mg1日2回食後経口投与より開始、徐々に増量、維持量として1日8～16mgを2回に分け食後経口投与、適宜増減、1日量24mgを超えない(抗精神病剤)		1179
258.30	先②劇 処	ロナセン錠8mg	(8mg1錠)	大日本住友	精神神経用剤	ブロナンセリンとして1回4mg1日2回食後経口投与より開始、徐々に増量、維持量として1日8～16mgを2回に分け食後経口投与、適宜増減、1日量24mgを超えない(抗精神病剤)		1179
273.60	先①外 劇処	ロナセンテープ20mg	(20mg1枚)	大日本住友	精神神経用剤	ブロナンセリン経皮吸収型製剤 ブロナンセリンとして成人40mgを1日1回貼付、患者状態に応じ最大80mgを1日1回貼付可、適宜増減、1日量は80mgを超えない、胸部、腹部、背部のいずれかに貼付し、24時間ごとに貼り替える[統合失調症](抗精神病剤)【9月4日新薬追補収載】		1179
394.30	先①外 劇処	ロナセンテープ30mg	(30mg1枚)	大日本住友	精神神経用剤	ブロナンセリン経皮吸収型製剤 ブロナンセリンとして成人40mgを1日1回貼付、患者状態に応じ最大80mgを1日1回貼付可、適宜増減、1日量は80mgを超えない、胸部、腹部、背部のいずれかに貼付し、24時間ごとに貼り替える[統合失調症]【9月4日新薬追補収載】		1179
511.20	先①外 劇処	ロナセンテープ40mg	(40mg1枚)	大日本住友	精神神経用剤	ブロナンセリン経皮吸収型製剤 ブロナンセリンとして成人40mgを1日1回貼付、患者状態に応じ最大80mgを1日1回貼付可、適宜増減、1日量は80mgを超えない、胸部、腹部、背部のいずれかに貼付し、24時間ごとに貼り替える[統合失調症]【9月4日新薬追補収載】		1179
16.00		ロバキシン顆粒90%	(90%1g)	あすか製薬(武田薬品)	骨格筋弛緩剤	メトカルパモールとして通常成人1日1.5～2.25gを3回に分割経口投与、適宜増減、小児は1日体重1kg当たり60mgをこえてはならない[動器疾患に伴う有痛性痙攣](骨格筋痙攣弛緩剤)		1225
15.80	後劇処	ロビニロール錠0.25mg「JG」 (0.25mg1錠)		長生堂製薬(日本ジェネリック)	抗パーキンソン剤	ロビニロール塩酸塩 ロビニロールとして1回0.25mg、1日3回(1日量0.75mg)から開始、1週毎に1日量0.75mgずつ増量、4週目に1日量3mg、以後経過観察しながら必要に応じ1日量として1.5mgずつ1週間以上の間隔で増量、維持量(標準1日量3～9mg)決定、いずれの投与量も1日3回に分服、適宜増減、1日量15mgを超えない[ドパミンD2受容体系作動薬]		1169
54.70	後劇処	ロビニロール錠1mg「JG」	(1mg1錠)	長生堂製薬(日本ジェネリック)	抗パーキンソン剤	ロビニロール塩酸塩 ロビニロールとして維持量(標準1日量3～9mg)を定め、いずれの投与量の場合も1日3回に分け、経口投与、適宜増減		1169
95.80	後劇処	ロビニロール錠2mg「JG」	(2mg1錠)	長生堂製薬(日本ジェネリック)	抗パーキンソン剤	ロビニロール塩酸塩 ロビニロールとして維持量(標準1日量3～9mg)を定め、いずれの投与量の場合も1日3回に分け、経口投与、適宜増減、ロビニロールとして1日量15mgを超えない		1169
91.20	後劇処	ロビニロール徐放錠2mg「共創未来」 (2mg1錠)		共創未来ファーマ	抗パーキンソン剤	ロビニロール塩酸塩2.28mg(ロビニロール2mg)(1錠中) ロビニロールとして1日1回2mgから開始、2週目4mg/日、以後必要に応じ2mg/日ずつ1週間以上間隔で増量、1日1回経口投与、適宜増減、1日量16mgを超えない(パーキンソン病)		1169